

まほらいな市民大学の様子

令和7年2月18日（火）

『映像作りは楽しい パート5』

伊那ビデオクラブ作品集から ～映像で見る平成の時代～ 』

講師 伊那ビデオクラブ会長 赤羽 仁 氏



『映像で見る平成の時代』と題して、赤羽 仁 氏の講話と伊那ビデオクラブの作品鑑賞がありました。はじめに平成の30年間を振り返って、赤羽氏から体験談や思い出話がありました。バブル後の証券会社倒産、小選挙区制による選挙開始、めざましいデジタル産業の進展、阪神淡路大震災・東日本大震災といった2度の震災、また伊那市でも権兵衛トンネルの開通や市町村合併による新伊那市の誕生などがあったと話がありました。

続いてビデオ作品の鑑賞があり、①長野オリンピック聖火リレー ②法華道～法華道を追って～ ③伝統行事:西箕輪大萱の百八灯 ④第28回伊那まつり ⑤過疎化～長谷杉島を訪ねて～ ⑥高木東六記念碑建立式典 ⑦権兵衛トンネル開通 ⑧新伊那市合併記念～三峰川の流れと暮らし～ ⑨花に人生を重ねて～千の風に誘われて～の9作品を観ました。ビデオ映像の美しさと面白さ、人々の暮らしや人々の願い、作品の豊かなストーリー性とナレーションのわかりやすさなどを感じ、伊那ビデオクラブの皆さんの「作品作りにかかる情熱」や「記録に残すことの意義の大きさ」が伝わってきました。

学生からは、「素晴らしい映像で感動し、なつかしく平成を思い出すことができました。こうしてビデオに残してくださっている方々がいて、本当にありがたいです。」「伊那の歴史や伝統行事を知ることができ、冬季長野五輪や新伊那市誕生など貴重な映像を楽しむことができました。」「権兵衛トンネル開通で、木曾をドライブする映像が面白かった。」「ナレーション、音楽、編集、演出とそれぞれ工夫されていて、その思いが良く伝わってきました。特に法華道がよかった。」「三峰川の霞堤や伝兵衛井筋など、先人の知恵や努

力で今の私たちが安全に生活できていることがわかった。」といった感想がありました。